



西が岡

西が岡小学校学校だより 2026th

令和8年9月30日

10月号

横浜市立西が岡小学校

自分大好き みんな大好き ひとみかがやく西が岡の子

〒245-0006 横浜市泉区西が岡3丁目12-11

TEL 045-814-3603

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>

西が岡小

検索

「挑戦する心と、多様性を認め合う心を育む後期に」(神無月)

校長 元田 光二

神無月。古くから、全国の神々が出雲の国に集う月と伝えられています。実りの秋を迎え、本校でも子どもたち一人一人の成長という実りを感じる季節となりました。まもなく前期が終了し、後期が始まります。これまでの学びや経験を振り返りながら、新たな目標に向かって挑戦する気持ちを大切にしたいと思っています。

前期を振り返ると、学習はもちろん、様々な教育活動を通して多くの経験を積み重ねてきました。友達と協力することの大切さを学び、自分の考えを伝えたり相手の思いを受け止めたりしながら、人として大きく成長してきたように感じます。前期の成果と課題をしっかり見つめ、後期につなげていくことを期待しています。

現在、学校では運動会に向けた準備が進んでいます。練習を重ねる中で、仲間と協力することの大切さや、最後まであきらめずにやり抜くことの大切さを学んでほしいと思います。当日は、結果だけでなく、そこに至るまでの努力や仲間との絆にも目を向けていただければ幸いです。

さて、8月末の日曜日、中川地区社会福祉協議会主催の障がい者理解に関する講演会に参加する機会がありました。講師は本校の卒業生である宮川百合亜選手でした。宮川選手は聴覚に障害がありながらも、デフテニスの日本代表として世界の舞台で活躍され、第3回世界デフテニス選手権でシングルスとダブルスで準優勝し、東京2025デフリンピックでも女子ダブルスで銀メダルを獲得されました。現在は、2029年のアテネデフリンピックに向け取り組んでいます。また、競技活動だけでなく、デフスポーツの普及や障がい理解を広げるための講演活動にも取り組まれています。

講演の中で語られたのは、自らの可能性を信じて挑戦し続けることの大切さ、そして互いを理解し支え合うことの大切さでした。その言葉には、子どもたちに伝えたい学びが数多く含まれていました。私たち大人もまた、多様な人々が共に生きる社会の中で、一人一人の違いを認め、尊重していくことの大切さを改めて考えさせられました。

地域には、子どもたちに夢や希望を与えてくれる素晴らしい先輩がいます。今後、本校でも宮川選手とのつながりを大切にしながら、子どもたちが多様な生き方や価値観に触れ、自分らしい未来を描くことができる学びの機会をつくっていきたいと考えています。

後期も、子どもたちが様々な活動を通して、自らの可能性に挑戦するとともに、他者を理解し認め合う心を育んでいけるよう、教職員一同努めてまいります。